



資料ID	2022-08-28_224232_TW::2021-10-05_140436:@9jtCdbGf3lih8Fe::1445253567212781574
URL	https://twitter.com/9jtCdbGf3lih8Fe/status/1445253567212781574
アカウント	@9jtCdbGf3lih8Fe
ユーザ名	弁護士 岸本 学
ツイートの記録日時	2022-08-28_224232_




弁護士 岸本 学

@9jtCdbGf3lih8Fe · フォローする





こういうこともあるのだから、被害者側の弁護士としては、安易に被害者へ「希望額の引き下げ」を勧められません。
実際のところ、痴漢・盗撮で示談金200万円以上の示談は、それなりの数成立しています。


 弁護士 岸本 学 @9jtCdbGf3lih8Fe

被害者が「盗撮で520万円で示談した」というツイートがありました。
あれも加害者側も弁護士がついており、合意自体に問題はないと見えます。
これをもし仮に、被害者から相談を受けた弁護士が「30万円にしときなさい」と言って被害者がこれに従っていたら、490万円の「逸失利益」が発生して

午後2:04 · 2021年10月5日

 16

 返信

 リンクをコピー

Twitterでいま起きていることを見ましょう